

町 5/30 をきれいに

町内企業4社合同社会貢献活動

ゴミゼロの日に合わせ、幸田駅の西側に立地する企業4社（パナソニック住宅設備株式会社、日軽エムシーアルミ株式会社、株式会社ジェイテクトコーティング、株式会社ジェイテクトグライディングシステム）合同の社会貢献活動が行われました。コロナ禍で中止されていたため、4年ぶりの開催で総勢236人の従業員が幸田駅を中心にごみ拾いや草刈りを行い、町をきれいにしました。



企業同士で協力してごみ拾い



重い荷物を運びながらの品出し



初めてのポップ作り

店 6/7~9 員さんになってみて

南部中学校職場体験

南部中学校2年生96人の生徒が「先人から学び、人から学ぶ」を目標に職場体験学習を行いました。ピアゴ幸田店に体験に行った生徒は、制服を着用し、品出しや野菜のパック詰め、ポップ作りなどを店員さんに教えてもらいながら体験しました。

お客さんに商品の売り場を聞かれた際には、商品がある棚まで案内し「緊張したけど、普段の店員さんの対応を知っていたからできました」と話していました。また、ポップ作りを体験した生徒は「どんな風にかいたらお客さんの目にとまるのかを考えたり、お客さんが読みやすい字で書かなければならないので緊張した」と話してくれました。

命 6/11 を支えるという事

介護フォーラム

町民会館さくらホールで幸田町介護フォーラムを開催しました。諏訪中央病院名誉院長で作家としても活躍されている医師の鎌田實^{かまた みのる}さんを講師に迎え、10代の子もたちが身内の介護によって自分を追い詰めてしまわないよう、一人一人ができることを自身の経験を踏まえてお話いただきました。また、介護予防のための鎌田式ストレッチを会場全体で実践し、ユーモア^{あふ}溢れる講演会となりました。



講演する鎌田さん



鎌田式ストレッチ



きれいに染まるかな？

柿 6/17 渋ハンカチを作ろう！

親子農業体験教室

町の特産物である筆柿を学ぶ、親子農業体験教室を道の駅「筆柿の里・幸田」で開催しました。参加者は実を大きくするために幼い実を間引く摘果の作業を体験した後、ハンカチに割りばしや輪ゴムを巻き付けたものを柿渋（柿の果汁を発酵させた塗料）で染める体験をしました。染めたハンカチは浸透するまで時間がかかるため「お家に帰ってからハンカチを開くのが楽しみ！」と話してくれました。

自 6/19 慢の一品

夏秋なすの鉢植え品評会

J A あいち三河幸田営農センターで、幸田町夏秋なす部会に所属するナス農家21人による鉢植え品評会が行われました。色やつや、葉の付き方などが審査され、最上位賞である幸田町園芸振興会長賞を横落区はやしあおいの林さんが受賞しました。林さんは「毎年、優勝を目指して試行錯誤を重ねて、今回結果を出すことができてうれしい」と話してくれました。収穫されたナスは県内の市場や町内の学校給食にも提供されます。



受賞した林さん

上 6/26 手に渡れるかな？

幸田保育園 交通安全教室

町内の保育園で町防災安全課職員と交通指導員、警察官による交通安全教室が行われました。

幸田保育園では、クイズや紙芝居を通して交通安全についての話を聞いた後、模擬信号機を使用して横断歩道を渡る練習をする園児たちの様子が見られました。繰り返し練習することで、交通事故に遭ってケガをしないように、左右の確認と手を挙げて渡ることの大切さを学んでいました。



上手に渡れました